

令和3年度倫理審査委員会申請一覧

NO	申請年月日	課題名及び概要	職名	氏名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)
1	4月6日	日本膜性増殖性糸球体腎炎 / C3腎症コホート研究(変更) 本研究では、日本膜性増殖性糸球体腎炎/C3腎症コホートを構築し、日本における原発性膜性増殖性糸球体腎炎(primary MPGN)、特に補体関連疾患であるC3腎症の診断、発生頻度について調査するとともに、生体試料を収集し当疾患の機序解明を行うことを目的とする。	統括診療部長	今澤 俊之	4月26日	特段の問題はないので承認とする。	2032年1月
2	4月7日	神経変性疾患の病理学的バイオマーカーに関する研究(変更) 神経変性疾患における病理学的マーカーの確立を目指す	脳神経内科医長	武田 貴裕	4月26日	特段の問題はないので承認とする。	2028年3月
3	5月14日	関節炎患者由来免疫細胞の試験管内における制御性細胞誘導とその機能解析 関節液穿刺や手術に伴い廃棄される炎症細胞/組織を用いて、試験管内における抑制性細胞との相互作用、サイトカイン産生の挙動を解析することで、新規治療法の臨床応用に向けた試験管内における基礎的知見の確立を目指す。	自己免疫疾患研究室長	大矢 佳寛	6月8日	特段の問題はないので承認とする。	2024年3月
4	6月11日	重症心身障害者における新型コロナウイルスワクチンの安全性に関する調査研究 重症児者において、ワクチン接種後の副反応・有害事象を慎重に観察すると共に、重症児者に特有の有害事象が起こるのかを検証し、その情報をご家族や医療従事者に広く提供することで、ワクチン接種への参考としていただく。	診療部長	松村 千恵子	7月1日	特段の問題はないので承認とする。	2023年4月
5	6月21日	高齢化する障害者の歯科疾患に関する実態調査 障害のある者の高齢化は、健康な者と同様に、歯科疾患が生活の質や生命に与える影響は大きいと考えるが、その実態に着目した検討はない。これらを明らかにすることを目的とし、高齢化する障害者の歯科疾患の実態を把握することで、高齢化対策を講じる一助としたい。	歯科医長	大塚 義顕	7月1日	特段の問題はないので承認とする。	2023年3月
6	7月30日	重症心身障害者における新型コロナウイルスワクチンの安全性に関する調査研究(変更) 重症児者において、ワクチン接種後の副反応・有害事象を慎重に観察すると共に、重症児者に特有の有害事象が起こるのかを検証し、その情報をご家族や医療従事者に広く提供することで、ワクチン接種への参考としていただく。	診療部長	松村 千恵子	8月30日	特段の問題はないので承認とする。	2023年4月

NO	申請年月日	課題名及び概要	職名	氏名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)
7	7月30日	ステロイド薬または免疫抑制薬内服下での弱毒生ワクチン接種の多施設共同前向きコホート研究 ----- 一定の免疫条件を満たしているステロイド薬または免疫抑制薬内服下の患者への弱毒性ワクチン接種の有効性と安全性を、多施設共同研究を行うことで評価する。	診療部長	松村 千恵子	8月30日	特段の問題はないので承認とする。	2023年2月
8	9月1日	我が国における1型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究 ----- 1型糖尿病をレジストリーするシステムを構築し、その診療実態を明らかにして臨床、診療の質の向上を目指すことが不可欠であり、正確な疫学調査が不可欠である。	診療部長	関 直人	9月15日	特段の問題はないので承認とする。	2022年3月
9	10月4日	近位尿細管に対する自己抗体により惹起された急性尿細管間質性腎炎の対応抗原の同定と病態解析 ----- これまで当該症例に最も類似した報告は先のJASNのABBAであるものの、上述のごとく必ずしも一致はせず、病態解析、そして今後の適切な治療のためには、対応抗原について精査する必要があると考え、本研究では対応抗原を探索する研究を行う。	統括診療部長	今澤 俊之	10月22日	特段の問題はないので承認とする。	2023年3月
10	11月1日	スピーチロックについての勉強会が病棟スタッフにもたらした変化 ----- スピーチロックについての勉強会が病棟スタッフにもたらした影響について、アンケート、ヒアリング等を通じて検証する。	看護師	阿久津 真由美	11月19日	特段の問題はないので承認とする。	-
11	12月21日	看護サービスの向上に向けた取り組みが看護師に与える影響について-フットケアの取り組みを通して- ----- 看護サービスの向上に向けた取り組みが臨床経験5年以上の看護師のモチベーションに与える影響について明らかにする	看護師長	笠原 智樹	-	倫理審査対象外	-
12	2月16日	ネフローゼレベルの尿蛋白を呈する膜性腎症と非膜性腎症の支持療法下における尿蛋白減少量の比較 ----- 当院での尿蛋白量3.5g/gCr以上の腎生検施行患者を対象とし、膜性腎症と非膜性腎症における尿蛋白量減少を比較することで、膜性腎症の診断の一助とする。	統括診療部長	今澤 俊之	3月1日	特段の問題はないので承認とする。	2023年3月

NO	申請年月日	課題名及び概要	職名	氏名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)
13	2月28日	Evaluation of screening with urine dipsticks and renal ultrasonography for 3-year-olds in Chiba City over 30 years ----- 千葉県3歳児検尿30年間に発見された慢性腎臓病(CKD)の検尿・画像所見・CKD stage等の特徴を明らかにし、スクリーニングの有効性について検討した。	診療部長	松村 千恵子	3月10日	特段の問題はないので承認とする。	-
14	2月28日	神経変性疾患を対象とした神経画像・神経生理評価による長期的観察研究 ----- 神経変性疾患における神経画像・神経生理評価における縦断的検討を行い、臨床症状・治療・QOL・心理評価など併せ、診断・治療管理・病態機序について解析する。	神経変性疾患研究室長	磯瀬 沙希里	3月31日	特段の問題はないので承認とする。	2027年3月
15	2月28日	神経筋疾患を対象とした軸索興奮性に関する観察研究 ----- 神経筋疾患を対象とし、神経伝導検査に加えて軸索機能検査を行うことにより、神経軸索における器質的・機能的変化の両側面からその病態を分析し、その機序解明を試みる。	神経変性疾患研究室長	磯瀬 沙希里	3月31日	特段の問題はないので承認とする。	2027年3月
16	2月28日	多角的電気生理評価法を用いた糖尿病性末梢神経障害の病態機序に関する観察研究 ----- 糖尿病性末梢神経障害に対して、複数の電気生理学的手法に基づく多角的アプローチを行い、その自然歴・病状経過を解析し、病態解明を行う。	神経変性疾患研究室長	磯瀬 沙希里	3月31日	特段の問題はないので承認とする。	2027年3月